

VI 参考資料 本校の生徒支援

○職員室前（使う内容・目的別の掲示）



○インフォメーションシステム・事務室前（モニターは校内各所に設置）



○廊下掲示（棟ごとの色分け・大きい表示）



○レポート提出箱（レポートの表紙の色で見分ける工夫）



○キャリアガイダンスルーム



○キャリア・アドバイザーによる面接練習



○トライ教室（学習支援ボランティアによる補習教室）の様子



○保健室外掲示



○修悠館サテライト案内掲示



○悠ルーム



○カウンセリングルーム



合格者の皆さん、保護者の皆様へ

神奈川県立横浜修悠館高等学校長

きめ細かな学習支援を行うためのお願い

合格おめでとうございます。新入生の皆さんが、学校生活をスムーズに送れるよう、また個に応じたきめ細かな支援を行う際の参考にするため、次の項目に当てはまることがありましたら、可能な範囲でご記入のうえ、入学手続きの際に、他の書類と一緒に提出してください。該当されないところについては空欄でかまいません。 ご提出いただいた情報は、厳重に管理し、支援目的以外で使用することはありません。また、記入による不利益は生じません。

お問い合わせ
教育相談・学習支援グループ 立川・滝瀬
電話 (045) 800-3711

受検番号		氏名		連絡先	
------	--	----	--	-----	--

(1) 学校生活について

[1~12の当てはまるところの記入欄に ○ を書き入れてください。]

		記入欄
1	黒板の字をノートに写したり、漢字を書いたりするのが苦手である。	
2	教科によって成績に極端なバラツキがある。	
3	課題の提出をよく忘れる。	
4	一斉の指示が理解できず、何をしたいかわからないことがある。	
5	整理整頓が苦手で、プリント等の配付物をなくしてしまう。	
6	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが苦手である。	
7	相手の反応に関係なく、自分の興味のあることを話し続けることがある。	
8	言動が誤解されやすく、クラスメートとのトラブルが多い。	
9	順番を待つのが難しい。	
10	落ち着きがないことが多い。(そわそわしていたり、思いついて急に席を立ったりする)	
11	カッとなりやすく、感情のコントロールができなくなることもある。	
12	手先が不器用だったり、運動がぎこちなかったりすることがある。	
13	*その他、これまでの学校生活で「困ったこと」がありましたらお書きください。 ()	

(2) これまでの支援について

ア あてはまる方に○をつけてください。

- a 特別な支援や相談機関等を利用したことがある。 → イに続きます
- b 特別な支援や相談機関等は利用したことがない。 → (3)へお進みください

～裏に続きます～

イ アでaに○をつけた方は、次の①～④について、ご記入ください。

- ① これまで以下のような支援等を受けたことのある方は、受けた項目と、()の時期に○をつけてください。(複数可) ※「高」は、高校に在籍したことのある方が対象です。

ア) 特別支援学級・個別級 (小 中) イ) 通級による指導 (小 中 高)
ウ) 別室(保健室等)登校 (小 中 高) エ) 家庭への訪問指導 (小 中 高)
オ) 特別支援学校(学校名) 小 中 高)
カ) その他 (小 中 高) ※内容を具体的に ()

- ② これまで以下のような特別な配慮を受けたことのある方は、受けた項目と、()内の時期に○をつけてください。(複数可) ※「高」は、高校に在籍したことのある方が対象です。

ア) 介助員 (小 中 高) イ) 授業への保護者の同席 (小 中 高)
ウ) ノートをとるための授業中のパソコン等使用許可等 (小 中 高)
エ) 定期試験の別室受験 (小 中 高)
オ) その他 (小 中 高) ※具体的内容 ()

- ③ 総合教育センターなどの相談機関を利用したことのある方は、あてはまる相談機関に○をつけるとともに、その時期を()に記入してください。(複数可)

ア) 総合教育センター () イ) 地域療育センター ()
ウ) 特別支援教育総合センター(旧養総センター) ()
エ) 発達障害者支援センター(発達相談室) ()
オ) その他(具体的にご記入ください) ()

- ④ その他の支援等を受けたことのある方は、受けた項目に○をつけてください。(複数可)

ア) ことばの教室 イ) 適応指導教室 ウ) フリースペース エ) 親の会(訓練会)
オ) 精神科デイケア カ) 放課後等デイサービス
キ) その他(具体的にご記入ください) ()

- (3) 当てはまる場合には、()に○をつけ、【 】内の該当するものにも○をつけてください。

() 障害者手帳を所持している 【身体・療育・精神：等級()】

() 発達障害等の診断を受けている 【ASD・ADHD・LD ()】

() 個別の支援計画(支援シート)を持っている

- (4) 上記(2)の②について、本校入学後に希望する項目がありましたら、その項目をご記入下さい。

() (できる範囲でご対応致します)

「自立支援の会」

本校では、発達障害も含め、特別な支援を必要とする生徒の「自立と社会参加」を目指した支援に取り組んでいます。「自立支援の会」では保護者対象に、次のような活動を行っています。

活動内容：①企業・職業訓練機関・福祉事業所等の見学会

②支援機関・制度の利用などについての学習会や情報提供

③必要に応じて、個別の支援計画に基づく支援

※関心のある方、登録を希望する保護者の方を対象に説明会を予定しています。

説明会への参加を希望する場合は、次へご記入ください。

保護者氏名 _____

ご連絡先電話番号 _____

支援シートⅠ(例)

支援シートⅠ これまでの支援これからの支援

ふりがな 氏名	所属機関	記入日	相談メンバー
〇〇〇〇 さん	〇〇中学校	平成 年 月 日	〇〇さん、保護者、担任() 教育相談・学習支援センター (. ○)
	↓ 横浜修悠館高校		

* 記入者には○印をつける

	項目	内容
これまでの取組	所属機関 〇△市立〇〇中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時代「ことばの教室」に通った。 ・中学では通級指導教室に通い、文字の練習やパソコン、計算等を学習した。
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・母親が時々学習をみてきた。 ・家では本人の役割として、掃除や簡単な料理の手伝いをしている。
	余暇・地域生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家ではゲーム、インターネットを見て過ごす。 ・趣味は鉄道・ピアノ演奏。
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市特別支援教育総合センター(小5)に相談した。 ・〇〇市障害福祉課「申請すれば手帳取得可」と言われた。(中3)

これまでの取組の詳細	学校生活全般	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの一員としていろいろな行事に参加し、自信がついてきた。 ・心配なことや不安なことを自分から言えるようになってきた。 ・理科(生物)、パソコン作業が得意である。(英・国・数は苦手) ・好きなことや得意なことはよく記憶できる。 ・制限時間を設けたり、易しい問題・少ない問題にすると集中する。 ・休日に遊ぶ仲間がなく、家でゲーム等で過ごすことが多い。 ・太りやすく体重管理の必要がある。
	学習面では	
	その他	

これからの計画	これからの方針 (本人・保護者の願い)	<ul style="list-style-type: none"> ・単位修得のため、学習面での支援を希望する。 ・就労に向けた、技能・態度等学ばせたい。 ・卒業後の生活のため、いろいろな経験を積ませたい。 ・将来は本人にあった仕事で生きがいのある人生を送らせたい。
	所属機関 横浜修悠館高校	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、個別の授業等で学習面の支援を行う。 ・学習の状況について定期的に確認し、アドバイスする。 ・就労を意識した指導や職場体験を積むことにより、将来の見通しが持てるようにする。 ・生活の幅を広げたりコミュニケーション力を育むための体験活動やボランティア活動等の機会を設ける。 ・支援制度や相談機関の情報を提供し、関係機関との連携によりサポートをする。
	家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や関係機関の支援が、本人の希望・気持ちに沿ったものであるか、本人の様子・聞き取り等により確認する。 ・家事手伝いなど、引き続き家庭での役割を持つ。
	余暇・地域生活 卒業後の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・本人にとってやりがいや、楽しみとなることを大切にする。 ・保護者に対し、「自立支援の会」等を通じ、情報を提供する。
	健康・安全・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満にならないように気をつける。 ・通院するクリニックからのアドバイス等、保護者を通じ得る。

支援シートⅡ 支援の内容と役割分担 支援シートⅡ(例)

氏名ふりがな	〇〇 〇〇 さん	所属機関	神奈川県立横浜修悠館高等学校
記入日	平成 年 月 日	相談メンバー	本人・保護者、〇〇市障害福祉課〇〇CW、 〇〇就業・生活支援センター〇〇さん、 横浜修悠館高校（ 〇〇 ）
見直し日	就労3カ月後(7月初旬)	相談メンバー	

* 記入者には〇印を付ける

課題 または ニーズ	<input type="checkbox"/> 労働に対する意欲を継続し、就労先への定着を願っている。 <input type="checkbox"/> 作業では手順等丁寧に示すことでより理解できる。 <input type="checkbox"/> 何事にも真面目に取り組むが、それだけに過大な負荷は本人にとってストレスとなる場合がある。 <input type="checkbox"/> 健康管理・対人関係・余暇活動を踏まえ、安定した生活を願っている。 <input type="checkbox"/> 将来はグループホームでの生活も視野に入れたい。
---------------------------	--

項目	機 関	担 当 者	支 援 の 内 容
所属機関	A株式会社 F店 電話〇〇〇-〇〇〇〇 A株式会社 総務人事部 電話〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇店長 人事部 〇〇マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけや励ましにより、本人が仕事への意欲を維持できるよう配慮する。業務において、本人がわからない時、困っている時に相談できる体制を作る。 ・何か問題等生じた時は、なるべく早く、関係機関（出身校、自立支援センター等）へ連絡をとる。
家庭・地域	家庭	両親	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、休養を充分とり、日々安定して出社できるよう配慮する。 ・精神的なストレスにより体調を崩すことがある。本人が不調を訴えたときに医療への受診も含め早めに対処する。
健康・安全・相談	〇〇市障害福祉課 電話〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇自立支援センター 電話〇〇〇-〇〇〇〇 ハローワーク〇〇 電話〇〇〇-〇〇〇〇 県立横浜修悠館高校 電話〇〇〇-〇〇〇〇	〇〇CW 〇〇さん 学卒部門 専門援助部門 教育相談・学習支援グループ(〇〇)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な福祉制度や相談の窓口となる ・定期的な職場訪問や連絡により、職場定着支援を行う。 ・本人からの仕事や生活等さまざま相談に応じる。 ・必要に応じ、余暇、仲間作り、将来の自立等の情報提供をする。 ・職場定着支援とともに、企業からの雇用上の相談にも応じる。 ・卒業後は就業事業所を管轄するハローワーク〇〇へ引き継ぐ。 ・就職当初は本人や勤務先からの相談の窓口となり、必要に応じて連絡、各機関とともに支援にあたる。 ・勤務先の訪問に際しては、自立支援センターに連絡し、連携を図る。 <p>※勤務後3カ月後（7月上旬）、関係機関と連携し、本支援シートの見直しと支援内容の確認の機会を設ける。</p>

「自立支援の会」

高等学校においても、生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う「特別支援教育」の推進が求められています。

支援を必要とする生徒に「自立と社会参加」を目指した支援を充実していくためには、保護者の方との共通理解が重要です。また支援にあたっては、「家庭・学校・社会という広い視点」と「将来の就労や自立を見据えること」が大切です。

「自立支援の会」では、本校生で手帳（療育・精神・身体）をお持ちの方、取得を検討されている方、発達障害等の診断を受けている方への支援の一環として、関係機関との連携により、保護者を対象とした企業や施設の見学会、進路や支援制度に関する学習会、情報交換のための懇談会等を行っています。

さらに必要に応じて、個別の支援計画に基づく就労支援等にも取り組んでいます。

《自立支援の会の活動例》

I 保護者対象

- ・ 見学会
企業、職業訓練施設、就労支援施設等
- ・ 講演会、学習会
就労について、各種制度について等
- ・ 各種セミナー等案内
- ・ 懇談会、各種相談 など

II 生徒対象

- ・ 見学会
- ・ 職場体験、社会体験 など

III 個別支援

- ・ 個別の支援計画（支援シート I、II）の作成
- ・ インターンシップ（職場実習）
- ・ ボランティア活動
- ・ 関係機関との連携による就労支援
- ・ 関係機関との連携による移行支援 など

※個別支援をご希望の方は、別途お申し出ください。



見学会（保護者）



体験（生徒）



インターンシップ

登録にあたって ～保護者の方との協働が基本です～

- ・ 登録票にご記入ください。（年度ごとの更新です）
- ・ 必要に応じて個別面談、アセスメント等を行います。
- ・ 活動中に撮影した写真は生徒の事前・事後学習や「自立支援の会だより」、協力先開拓、研究発表等に使用します。（差し障りがある場合は担当までお申し出ください）

これまでの取組と連携機関

保護者対象見学会 (※は生徒も参加)

伊藤忠ユニダス株式会社※、富士ソフト企画株式会社※、株式会社ファンケルスマイル、株式会社高島屋横浜店、K2インターナショナル、日総びゅあ株式会社、株式会社AOKI、ビーアシスト株式会社、神奈川障害者職業能力開発校※、パーソルサンクス株式会社、神奈川能力開発センター※、共働舎、プライズ横浜、アビリティーズジャスコ海老名※、横浜戸塚就労支援センター、LITALICOワークス横浜戸塚※、学齢後期発達相談室くらす、SAKURA横浜センター、横浜市中福祉授産所、横浜市リハビリテーションセンター

保護者対象学習会 (※は生徒も参加)

「支援が必要な方の就労の現状と今後について」(神奈川県障害者就労相談センター)
「企業から学ぶ職場のルールとマナー」(富士ソフト企画株式会社) ※
「地域福祉の現状と制度の活用」(横浜市社会福祉協議会)
「発達障害の理解と支援」(岩谷学園高等専修学校主催公開講座)
「先輩に聞こう」(卒業生と保護者を招いて) ※、「グループホーム」(開く会)

生徒対象見学・作業体験 (※は保護者も参加)

横浜市野毛山動物園、清掃作業体験(ビルメンテナンス協会)、ピース第Ⅱ新横浜※、パソコン教室(岩谷学園高等専修学校)、アビリンピック※、横浜市動物愛護センター、埋蔵文化財センター※、障害者就職合同面接会(横浜文化体育館) ※

個別の支援計画に基づくインターンシップ、ボランティア活動等

相鉄ローゼン株式会社、株式会社銀座コージーコーナー、株式会社ファンケルスマイル、株式会社アルペン、株式会社ジョナサン、兵藤動物病院、株式会社東海ビルメンテナンス、富士ソフト企画株式会社、株式会社コジマ、伊藤忠ユニダス株式会社、ダイエー戸塚店、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社すかいらくレストランツ、株式会社タックス横浜、ワークセンターやまと、特別養護老人ホーム睦愛園、株式会社LEOC、西友大船店、株式会社ホンダカーズ中央神奈川、ユーコープ萩丸店、株式会社ホテルニューグランド、株式会社ヨロズ、明治学院生活協同組合、聖星保育園、幸陽園、どんとこい・みなみ、横浜市馬術協会、神奈川県庁、茅ヶ崎市役所、苗場保育園、一の会、ともしびショップ、プラーナ各事業所、大和市障害者自立支援センター、無限夢工房、地域作業所スコップ、LITALICOワークス各事業所、なかだや、らっく、福祉農園合同会社、ぴぐれっと、亀吉、ぼらーの上和田、虹のかけはし、アニミ、Melk各Office、ピアジョブサポート溝の口、横浜市中福祉授産所、ファールニエンテ、わーくさぼーと恵の杜、横浜技術センター、第2かたるべ社、ワークショップ夢21西谷、ウィング・ビート、ひとつの芽、タキオン、エヌ・クラブ など

※ その他、懇談会、各種セミナー等案内、相談・支援機関、支援制度の紹介、総合教育センターのアセスメント、個別相談などを行いました。

文部科学省

「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」

平成30年度 神奈川県立横浜修悠館高等学校

【検討会議委員】

氏名	所属・職名
前嶋 深雪	東京学芸大学 講師
安形 和倫	横浜市こども青少年局青少年部青少年育成課 担当係長
岩本 真実	K2インターナショナルグループ NPO法人ヒューマンフェロシップ 代表理事
山 義明	横浜市立中和田中学校 校長
野崎 典子	横浜修悠館高等学校保護者コミュニティ 代表委員
福田 裕志	神奈川県立総合教育センター教育相談部教育相談課 課長
濱田 啓太郎	神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課 課長
伊藤 輝章	神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課 指導主事
橋本 雅史	神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課 主導主事

【校内委員】

校長	原口 瑞
副校長	米田 朋正
教頭	木村 幸蔵
事務長	天野 栄一
総括教諭 研究主任	大谷 英弘
教諭 1班リーダー	島野 泰
教諭 2班リーダー	安田 章一
教諭 3班リーダー	大西 優
教諭 1班	大川 智子
教諭 1班	中野 周平
教諭 1班	村田 周子
教諭 2班	桑島 隼
教諭 2班	二宮 佳菜
教諭 3班	島田 聖子

文部科学省「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業」
～通信制課程における多様な学習ニーズを支える持続可能な体制の構築～

平成 30 年度 報告書

平成 31 年 3 月発行

発行者 神奈川県立横浜修悠館高等学校

編集者 文部科学省「高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実
事業」調査研究校内委員会

印刷・製本 山口印刷所